

TOPICS

- 一人ひとりが、そして地域ぐるみで、防災・減災を！
- 日限山自治会独自の「対面安否確認」のもつ意義
- 環境福祉部からお願い 防災防犯道交部より
- 日限山ネットの活動 民生委員の活動

一人ひとりが、そして地域ぐるみで、防災・減災を！

横浜市で、今後30年の間に震度6弱以上の地震が発生する確率は82%とされています。

「地域防災拠点」の主な役割
災害が起こって、倒壊したり、倒壊の危険性があつたりして、自宅には住めない人が避難する場所です！「拠点」には、避難生活を送る場所というほかに、「最低限の水・食料・生活用品などの支援物資が集まる場所」であり、「安否情報や区役所からのお知らせなど情報拠点」としての役割もあります。

「在宅避難」って！？

避難所(地域防災拠点)で収容できるスペースは限られています。本当に必要な人が避難生活を送ることができるよう、自宅での生活が可能であれば、在宅被災生活を送りましょう。これを「在宅避難」と言います。

次の1～6を✓してみましょう。

- 1. 自宅の耐震診断はできていますか？
- 2. 自宅は耐震化できていますか？
- 3. 家具の転倒防止器具を取り付けていますか？
- 4. 備蓄品の準備はできていますか？(最低3日分)
※できれば7日分
 - ①飲料水 1人3日分9ℓ
 - ②食料(クラッカー、缶詰)
 - ③トイレパック
(1人3日分15個ほど)
- 5. ローリングストック(循環型備蓄)をしていますか？
※食べ慣れたレトルト食品を少し多めに買っておくなど、日頃から利用している食料や日用品を少し多めに買い

置き、普段の生活の中で定期的に使いながら、新たに買い足して、常に一定の量を保つことを「ローリングストック」といいます。

□6. 非常持ち出し品(懐中電灯、携帯ラジオ、貴重品など)を準備してありますか？

その他にも「妊婦のいる家庭」「乳幼児のいる家庭」「要援護者のいる家庭」など、それぞれの事情に合わせた準備が必要になります。～「在宅避難」リーフレット(港南区版)から一部引用～

日限山自治会独自の「安否確認」のもつ意義を共有しましょう！

日限山自治会が、3年前まで「対面」で行ってきた安否確認訓練は、大規模災害時などの非常事態に備えて、向こう三軒両隣で、日頃から緩やかな見守り・支え合いの関係をつくっておくためのものです。

10月15日の総合防災訓練では、日限山自治会として3年ぶりに「対面安否確認訓練」を実施しますので、会員の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

環境福祉部からのお願い

環境福祉部から2つお願いがあります。

①自治会館前で、使用済みや期限切れの植物性食用油を回収しています。環境にやさしいエネルギーとして活用するためです。写真は港南区HPより



②「ごみネット」の隙間から、カラスがごみ袋をつついて、散乱しているという状況について、2丁目にお住まいの方からお伝えいただきました。ネットの隅にゴミを出す場合、ビニール袋に入れて、さらに紙袋に入れて出す、などしていただくようお願いします。

防犯・交通情報の提供！

①8月9日午前9時すぎ、自治会館側から2丁目公園側に、道路を横断しようとした81歳の男性が、戸塚方面に直進する車にはねられ死亡する事故がありました。戸塚方面の信号は青で、男性は横断歩道ではないところを渡ろうとした結果でした。

②8月22日午前3時頃、8ブロックのお宅に雨戸を破って侵入しようとする気配、物音にそのお宅の住民が気づき、犯人が逃げていくという窃盗未遂事件が起こりました。家人に危害はありませんでしたが、お気をつけください。
～防災防犯道交部よりの情報提供～

日限山ネットの活動～4～

現在、総合防災訓練でのLINEによる安否確認に向けて準備中です。

民生委員の活動紹介～4～

希望者を対象に、毎月1回「ささえあい訪問」をしています。民生委員が、一人暮らし高齢者、障がい者家族世帯、子育て中の若い世代を見守り、その相談相手になっています。その際、「訪問だより」を配布しています。

本紙発行人 兵藤 剛士
// 編集者 齊藤 亮